

『ハンデ戦の狙い方』

発行責任者 前川正光

HP: 激走！データ競馬ブログ

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/>

メール: info@joywork.jp

著作権

著作権は私、前川正光に属します。

当テキストに書かれている情報や内容を複製、転載することを堅く禁じます。

もし、反する行為が発見された場合はしかるべき法的措置をとらせていただきますのでご注意ください。

免責

本テキストの情報およびインターネットなどにより配信された情報の使用責任は購入された方にあり、馬券は自己責任にて購入を行なってください。馬券の購入代行や購入資金の返還は行なっておりません。

一般公開の禁止

当テキストに含まれる情報は一般公開を予定されたものではありません。

その情報を著作権者の許可なく出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開ならびに転売を禁止いたします。

夏競馬もいよいよ本番を迎えました。

毎年のことですが予想が難しい季節ですね。

さらに全レース 3 連単発売もされると言うことで、高配当の連発も予想されます。

そして、夏と言えば、ハンデ戦もたくさんありますよね。

重賞では、ラジオ NIKKEI 賞、七夕賞、小倉サマージャンプ、函館記念、

小倉記念、北九州記念、新潟ジャンプ、新潟記念…

いやあ一何て多いことでしょう！

「夏は難しい！」というイメージも仕方ないところでしょうね。

そこで、今日は「ハンデ戦の狙い方」について、データを見ていきましょう。

と、言っても…ハンデ戦の本質は、ハンデを設けることによって、どの馬にも勝機を与えることを目的としていますので、難しいのは当たり前。

あてもなくむやみに買うのは、ただのギャンブルですから、狙いの馬がいなければ無理な勝負はしないほうが良いと私は思っています。

まずは、狙いえる馬がいるかどうか？

1～2頭狙えそうな馬がいれば、予想もしやすくなりそうですね。

では、データから見ると、どのような馬が狙い目なのか？

早速、見てみましょう。

対象データは 2006 年以降、芝ダのハンデ戦全 506 レース

数値は

項目(着別度数) 勝率 連対率 複勝率 単勝回収率 複勝回収率

騎手

1位	武豊	(23-23-15-89)	15.3%	30.7%	40.7%	単 63%	複 73%
2位	後藤	(18-19-18-103)	11.4%	23.4%	34.8%	単 80%	複 96%
3位	蛭名	(18-18-11-100)	12.2%	24.5%	32.0%	単 90%	複 91%
4位	横山典	(18-18-10-92)	13.0%	26.1%	33.3%	単 87%	複 77%
5位	吉田豊	(16-9-6-115)	11.0%	17.1%	21.2%	単 87%	複 77%
6位	安藤勝	(15-16-14-74)	12.6%	26.1%	37.8%	単 57%	複 75%
7位	田中勝	(15-16-11-98)	10.7%	22.1%	30.0%	単 93%	複 93%
8位	藤田	(15-16-11-87)	11.6%	24.0%	32.6%	単 70%	複 81%
9位	福永	(15-15-11-110)	9.9%	19.9%	27.2%	単 71%	複 69%
10位	川田	(14-11-5-91)	11.6%	20.7%	24.8%	単 135%	複 88%
11位	小牧	(14-9-20-84)	11.0%	18.1%	33.9%	単 167%	複 141%
12位	岩田康	(13-22-27-102)	7.9%	21.3%	37.8%	単 38%	複 99%
13位	中舘	(13-11-8-105)	9.5%	17.5%	23.4%	単 82%	複 68%
14位	柴田善	(13-7-11-104)	9.6%	14.8%	23.0%	単 81%	複 74%
15位	武幸	(12-14-6-76)	11.1%	24.1%	29.6%	単 191%	複 96%

調教師

1位	松田博	(12-9-6-40)	17.9%	31.36%	40.3%	単 102%	複 86%
2位	中村均	(10-6-6-70)	10.9%	17.4%	23.9%	単 86%	複 76%
3位	大久保洋	(9-6-5-63)	10.8%	18.1%	24.1%	単 128%	複 75%
4位	音無秀	(8-13-13-75)	7.3%	19.3%	31.2%	単 42%	複 86%
5位	池江郎	(8-5-7-67)	9.2%	14.9%	23.0%	単 75%	複 73%
6位	長浜博	(8-4-8-43)	12.7%	19.0%	31.7%	単 128%	複 93%
7位	藤原英	(8-4-3-18)	24.2%	36.4%	45.5%	単 149%	複 117%
8位	橋口弘	(7-7-9-80)	6.8%	13.6%	22.3%	単 53%	複 68%
9位	鮫島一	(7-6-7-71)	7.7%	14.3%	22.0%	単 45%	複 62%
10位	加用正	(7-3-8-58)	9.2%	13.2%	23.7%	単 88%	複 69%
11位	野村彰	(7-2-5-35)	14.3%	18.4%	28.6%	単 451%	複 152%
12位	栗田博	(7-0-4-35)	15.2%	15.2%	23.9%	単 208%	複 112%
13位	森秀行	(6-8-14-78)	5.7%	13.2%	26.4%	単 52%	複 100%
14位	松元省	(6-8-6-39)	10.2%	23.7%	33.9%	単 160%	複 108%
15位	鶴留明	(6-6-4-32)	12.5%	25.0%	33.3%	単 181%	複 119%

馬主

1位	サンデーレーシング(35-45-32-244)	9.8%	22.5%	31.5%	単 86%	複 107%
2位	社台レースホース(30-26-22-216)	10.2%	19.0%	26.5%	単 106%	複 93%
3位	サラブレッドクラブ・ラフィアン(14-11-14-163)	6.9%	12.4%	19.3%	単 129%	複 75%
4位	近藤利一(13-10-3-53)	16.5%	29.1%	32.9%	単 100%	複 65%
5位	松本好雄(10-7-8-80)	9.5%	16.2%	23.8%	単 130%	複 116%
6位	ビッグレッドファーム(9-3-5-62)	11.4%	15.2%	21.5%	単 405%	複 160%
7位	シルク(8-9-7-54)	10.3%	21.8%	30.8%	単 59%	複 91%
8位	西山茂行(8-8-8-59)	9.6%	19.3%	28.9%	単 68%	複 77%
9位	内村正則(8-7-2-57)	10.8%	20.3%	23.0%	単 50%	複 52%
10位	吉田勝己(8-3-3-46)	13.3%	18.3%	23.3%	単 90%	複 64%

データ詳細はコチラからダウンロードできます。



<http://datakeiba.client.jp/muryou.html>

騎手では、武豊騎手がダントツですが、回収率に目を向けてみると川田騎手、小牧騎手、武幸騎手。この3人はこれだけ多くの騎乗をこなして、この数値ですから、特筆ものです。

調教師では、上位の方がやはり素晴らしいのですが、ここ最近の成績で注目しているのは、藤原英調教師です。

今年に入ってから成績(4-1-1-4)

- 5/18 烏丸 S 1着エアジパング(5番人気)
- 4/26 シドニーT 3着トレノジュビリー(3番人気)
- 4/6 ダービー卿 CT 2着ドラゴンウェルズ(9番人気)
- 3/30 心齋橋 S 1着エイジアンウインズ(1番人気)
- 3/9 中京記念 1着タスカータソルテ(6番人気)
- 3/2 なにわ S 1着サイボーグ(4番人気)

人気問わず、好成績を出しています。今年の後半戦も注目です。

騎手&調教師の成績では、吉田豊・大久保洋(6-3-4-27)
秋山・野村彰(5-1-2-9)が目立った成績を残しています。

馬主では、サンデーと社台は別格ですが、近藤氏(アドマイヤ・・・)や
松本氏(メイショウ・・・)なども素晴らしい成績です。

あと、同じレースに同じ馬主の馬が2頭以上、登録あれば注意が必要です。
勝たせたい馬とそうでない馬がいるはずですから、ハンデや人気などに
注意してみましょう。

それから、登録時には、断然強い馬がいたが、直前に回避した場合です。
回避によって、ハンデの恩恵を受けた馬がいるはずで。

その強い馬が登録していなければ、もう少し重いハンデになってたであろう馬。
そんな馬に注目です。

それが、同じ馬主なら…なおさらですね。

ハンデ別

48kg 以下(1-0-0-15) 6.3% 6.3% 6.3% 単 726% 複 178%
49kg(2-0-2-23) 7.4% 7.4% 14.8% 単 87% 複 221%
50kg(1-2-11-223) 0.4% 1.3% 5.9% 単 51% 複 75%
51kg(7-14-19-408) 1.6% 4.7% 8.9% 単 59% 複 85%
52kg(21-34-35-685) 2.7% 7.1% 11.6% 単 93% 複 77%
53kg(49-53-55-980) 4.3% 9.0% 13.8% 単 111% 複 87%
54kg(97-84-110-1205) 6.5% 12.1% 19.5% 単 103% 複 92%
55kg(100-120-106-1405) 7.1% 15.7% 23.2% 単 78% 複 84%
55.5kg(3-1-0-7) 27.3% 36.4% 36.4% 単 144% 複 68%
56kg(108-102-85-726) 10.6% 20.6% 28.9% 単 76% 複 81%
56.5kg(1-2-6-15) 4.2% 12.5% 37.5% 単 10% 複 63%
57kg(71-62-46-410) 12.1% 22.6% 30.4% 単 87% 複 74%
57.5kg(27-24-14-91) 17.3% 32.7% 41.7% 単 105% 複 93%
58kg(13-8-15-58) 13.8% 22.3% 38.3% 単 54% 複 75%
58.5kg(3-0-0-8) 27.3% 27.3% 27.3% 単 83% 複 40%
59kg(2-2-1-5) 20.0% 40.0% 50.0% 単 124% 複 102%
59.5kg(0-0-0-2) 0.0% 0.0% 0.0% 単 0% 複 0%

前走からの斤量増減

斤量増

1～1.5kg(42-50-26-258) 11.2% 24.5% 31.4%
2～2.5kg(13-10-4-70) 13.4% 23.7% 27.8%
3kg 以上(4-11-15-52) 4.9% 18.3% 36.6%

斤量減

1～1.5kg(106-110+114-1093) 7.4% 15.2% 23.2%
2～2.5kg(83-99-85-1052) 6.3% 13.8% 20.2%
3kg 以上(69-83-103-1716) 3.5% 7.7% 12.9%

増減なし(164-124-140-1605) 8.1% 14.2% 21.1%

軽ハンデ馬は苦戦していますね。

51kg 以下で(11-16-32-669)連対率 3.7%です。平均人気は 12 番人気
ですから、追いかけてすぎないように…

昔ではハンデ差上下 10kg 以上あったレースもありましたが、それほど
斤量の差を設けることがなくなりました。せいぜい 7kg ぐらいですよ。

斤量差があまりなければ、斤量が重い、実力のある馬が有利になると
考えられます。

データを見ても、重ハンデ馬の方が好走比率が高くなっていますね。

それから、ハンデ別の成績を見てみると、

55.5kg

56.5kg

57.5kg

58.5kg

が比較的高い数値を記録しています。

まあ、該当数が少ないせいもありますが、それでも、57.5kg 複勝率 41.7%は
高いと思います。

この「.5」が良いんですね。

覚えておいて損はないでしょう。

また、ハンデ戦では「斤量差と着差・時間差」というのも気にしてみてください。

「斤量 1kg 差」がおおよそ「1 馬身・0.2 秒の差」と言われていますので、それを考慮し、
ハンデが重すぎる、軽すぎるのではないかと考えてみると良いかもしれません。

斤量増減のデータでは、大幅な斤量減が狙い目…

と思いがちですが、実際にデータを見てみるとそうではありません。

前走 3kg 以上減を狙うよりも、前走から 1kg 増の方が良さそうですね。

前走から

⇒斤量増 1～1.5kg(42-50-26-258) 11.2% 24.5% 31.4%

⇒斤量減 3kg 以上(69-83-103-1716) 3.5% 7.7% 12.9%

以上、ハンデ戦のデータを調べてみました。

また、機会がありましたら様々な視点からみたデータファイルを作成していきたいと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

□発行者 前川正光

□メール info@joywork.jp

□管理サイト&メルマガ

「激走！データ競馬ブログ」

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/>

「激走！データ競馬メルマガ」

<http://www.mag2.com/m/0000154729.html>

「高確！データ競馬」

<http://mini.mag2.com/pc/m/M0076130.html>

無料版「今日の消去馬&推奨馬」

<http://gekisokeiba.livedoor.biz/archives/51360862.html>

有料版「今日の消去馬&推奨馬」

http://www.infojust.jp/?page_id=732&pid=1